

2021年度「民間育英団体」「地方公共団体」の奨学金募集一覧（12月9日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口で見ることができます。）

| 奨学団体等 | 必要資格 | 他奨学金との重複 | 対象学年 | 金額 | 給付・貸与の別 | 募集人員(全国で) | 募集要項の<請求先> | 申請書類の<提出先> | 提出期限 |
|---|---|------------------------|--|---|------------------|--|----------------------------------|--|---|
| 社会福祉法人さぼと21 2022年度「生活支援プログラム」 | (1)日本に住んでいる外国籍または元外国籍の学生(原則aまたはb)で2022年4月に在学中 a)難民とその子など b)特定居住者または中国帰国者の子など主として「永住」の在留資格をもつ方 *既に日本国籍になった方も含む。在留資格が「留学」の方は対象外 (2)学費の負担が困難な方 (3)研修行事などに参加できる方(交通費支給) | 可 | 学部生 | 24万円(月額2万円) | 給付 | 大学生・専門学校生 20名前後 | 生活支援プログラム | 生活支援プログラム | 12月1日(水)～ 1月28日(金) (応募書類必着) |
| 令和3年度 旭川市内に定着した方への奨学金返還支援 (奨学金返還支援事業) | 令和3年度卒業予定の方で令和4年度に旭川市内に居住及び地元企業へ正規雇用により就業する方 対象となる奨学金:独立行政法人日本学生支援機構 第一種貸与奨学金 | 返還支援 | 大学4年生の者 大学院2年生以上の者。 (令和3年度に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者) | 奨学金の返還金として返金した返済した金額の1/2を年度ごとに補助 *3年間で最大258,000円 | 返還支援 | 記載なし | 旭川経済部経済総務課 雇用労政係 | 旭川経済部経済総務課 雇用労政係 | 3月31日 (登録受付・書類必着) |
| 一般財団法人 LPC Foundation | ①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済学部等に在籍する学部3年生であること ③応募締切時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について通時報告できること *経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(例:政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会学類経済学専攻、理工学部経営工学科) | 可 | 2021年4月1日の時点で 学部生 3年生 | | 給付 | 10名 | LPC Foundation | 一般財団法人 オークネット財団 事務局 奨学金事業係 | 11月1日～ 12月31日 (応募書類必着) |
| 国際ソロプラミストアメリカ日本中央リジョン 大学院女子学生奨学金 | (1)日本中央リジョン区域境界内に在籍し、研究、人材に優秀で修士、博士学位取得を目指している大学院修士課程・大学院博士課程に在籍する女子学生。 (2)返済義務のある奨学金受給者及び予定者の学生は可 (3)過去の選外者の再応募は可(年齢制限なし) | 可 (給付奨学金を除く) | 女子大学院生 | 120万円 | 給付 | 1名 | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 12月19日 (16時厳守) |
| たすけあい奨学制度 (扶養者を亡くされた学生への緊急援助) | 大学生協のある大学の学生(学部生、大学院生) (在学中の方で、扶養者を亡くされてから原則として6カ月以内の方) | 可 | 学部学生・大学院生 | 10万円(一括給付) | 給付 | 記載なし | たすけあい奨学制度 | 全国大学生協連奨学財団 | 随時 (在学中の方で、扶養者を亡くされてから原則として6カ月以内の方) |
| 一般財団法人 オークネット財団 | ①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済学部等に在籍する学部3年生であること ③応募締切時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について通時報告できること *経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(例:政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会学類経済学専攻、理工学部経営工学科) | 可 | 2021年4月1日の時点で 学部生 3年生 | 年間48万円 (2月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間 | 給付 | 10名 | オークネット財団 | 一般財団法人 オークネット財団 事務局 奨学金事業係 | 11月1日～ 12月31日 (応募書類必着) |
| 令和4年度 JEECS・馬場財団 国際理解教育人材養成奨学金 | 次の各号の全てに該当する者 (1)原則として3ヶ月以上12カ月以内の海外留学を計画し、本奨学金の受給決定以降、令和4年度内に留学を開始する予定の者。 (2)留学開始時において、日本国内の大学(以下、「大学」という。)の学部2年次(1年次修了)以上、又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生。在籍大学は寄附者との協議の上選定した指定校制とする。 (3)大学卒業後に初等中等教員となることを目指し、教職課程を履修する者、または教職課程を修了し、免許取得済の者。 (4)本奨学金の支給期間中、海外留学支援を目的とする他の奨学金の支給を受けない者(貸与・返済済みの奨学金、学費免除及び一時金は除く)。 (5)留学の目的は計画が明確で、就学の効果が期待できる者。なお、留学先機関(以下「留学先」という。)での履修科目の1つとして、教育課程履修、カリキュラム論を履修することが望ましい。 (6)心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 (7)在籍大学の長の推薦を受けることができる者。 | 給付型奨学金は不可。 | 令和4年度に留学する者のうち、留学開始時点において学部2年次以上の学生、又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生 | (1)月額 10万円 (2)留学準備金 アジア地域 15万円 その他の地域 25万円 留学開始から終了まで(ただし3ヶ月以上12カ月以内とする) | 給付 | 7名程度 (学内からの推薦枠は1名) | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 12月17日 (16時厳守) |
| 令和3年度 山梨県ものづくり人材就業支援事業 (奨学金返還支援事業) | 申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれに準ずる学部、研究科等(以下「大学等」という。)に在学し、次の各号の全てに該当する学生 (1)独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けていること。 (2)令和3年度卒業予定者については令和4年9月末まで、令和4年度卒業予定者については令和5年9月末まで、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を予定していること。 (3)令和3年度卒業予定者については令和4年4月初日、令和4年度卒業予定者については令和5年4月初日を起点とした10年間のうち、8年間に山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること。 | 返還支援 | 現在 大学3・4年生の者 大学院1・2年生の者。 (令和3年度中に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者) | 大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする | 返還支援 | 令和3年度卒業予定者 23名 令和4年度卒業予定者 未定 | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 山梨県産業労働部 ホームページ(リンク) | 10月1日～ 2月28日 (持参もしくは応募書類(簡易書留)必着) ※募集定員に達した時点で募集は締切です。 |
| 2022年度 公益財団法人 東ソー奨学会 | 学費の支弁が困難と認められる大学院生(修士、博士前期、博士後期)及び学部3・4年生で、品行方正、学術優秀、身体健康な者。 *2022年4月時点 | 記載なし | 大学院生(修士、博士前期、博士後期) 学部3・4年生 *2022年4月時点 | 学部生 月額 3万円 大学院生 月額 5万円 | 貸与 (無利子) | 20名 | 大学 (学生支援チーム) | 東ソー奨学会事務局 (12/15までに学生支援チームへ推薦書作成を依頼すること) | 1月7日 (応募書類必着) |
| 2021年度給付型奨学金 一般財団法人 新井芳男記念財団 | (1)2021年4月1日現在において、2年生～4年生に在籍する工学部の方 (2022年4月1日から大学院へ進学される方は応募可能) (学部・学科は機械系、化学系、電気系に限る) (2)2021年4月1日現在で、23歳以下の方 (3)2021年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する方 (4)最短修業年限にて卒業の見込みがある方 | 記載なし | 2021年4月1日現在において 工学部2～4年生の学部生 (機械系、化学系、電気系) | 年間10万円 | 給付 | 30名程度 | 一般財団法人 新井芳男記念財団 | 一般財団法人 新井芳男記念財団 | 10月15日～ 1月14日 (当日消印有効) |
| 公益財団法人 鹿児島育英財団 (募集期限延長) | 次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑥までの全てに該当する者 ①鹿児島内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下、「高等学校等」という。)を卒業した者。 ②鹿児島外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子弟で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という。))に在学し、令和5年3月(令和4年度中を含む。)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④日本学生支援機構第一種奨学金又は公益財団法人鹿児島育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ県内居住を希望する者。 ⑥鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等を受給していない者 ※大学等入学時に、当財団の大学等入学時奨学金(地方創生枠)の奨学生として採用され、送金を受けた者は申請できない。 | 返還支援 | 現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和3年3月(令和4年度中を含む。))に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者) | 在学中に借り受けた奨学金の金額 ※ただし、返還期限猶予の適用を受けた場合は、その期間相当の奨学金を除いた額とする。ただし、大学等を卒業(修了)後、引き続き上級学校へ進学した期間は支援対象に含めず。 | 返還支援 | 20人程度 | 公益財団法人 鹿児島育英財団 ホームページ(リンク) | 公益財団法人 鹿児島育英財団 | 8月6日～ 12月15日 (応募書類必着) 募集期限延長 |
| 三重県 (奨学金返還支援制度) | 以下のすべてに該当する方 1. 申請時に最終学年又はその1年前の学年の在籍生(県内居住、県外居住のいずれも可)で、就職先が決まっていない方 2. 指定地域への定住を希望し、かつ企業・団体に就業を希望する方(指定地域枠) 指定業種のうち県内に本社を有する企業・団体に就業を希望し、かつ県内への定住を希望する方(指定業種枠)※指定地域、指定業種は募集要項に記載 3. 常勤雇用または個人事業主として就業を希望する方(ただし公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 令和3年3月31日時点で35歳未満の者 | 可 | 学部3年生以上 大学院(修士課程):1年生以上 大学院(博士課程):最終学年 又はその1年前の学年 | 在学中に 借受予定の奨学金 総額の1/4 (上限100万円) 助成条件:就職し、4年間居住後に(助成金額の1/3)を交付し、8年間居住後に残額を交付 | 返還支援 | 40名 指定地域枠15名 業種指定枠25名 (予定) | 三重県戦略企画部 ホームページ(リンク) | 三重県戦略企画部 ホームページ(リンク) | 1月28日 (応募書類必着) ※郵送の場合は配達証明郵便を使用すること |
| 徳島県奨学金返還支援制度 | 以下の(1)～(5)すべてに該当する者 (1)日本学生支援機構奨学金等(徳島県が認めるもの)の貸与を受けている方 又は「受けていた方」(既卒者にあつては返還残額がある方(滞納がある場合を除く)) (2)徳島県内の事業所に正規職員として就業を希望する方(公務員を除く) (3)大学、短大、大学院、高等専門学校、専修学校専門課程(大学等)を規程の「卒業年度」に卒業し規程の「卒業開始期間」内に就業する方 (4)徳島県内に住所を有する予定である方 (5)既卒者にあつては、R3.8.1時点で県外に在住し徳島県に移住する事を希望する30歳(R4.4.1時点)までの方 | 記載なし | 令和3年度、令和4年度に卒業する方 | ①日本学生支援機構無利子奨学金借受総額の1/2(上限100万円) ②日本学生支援機構有利子奨学金借受総額の1/3(上限70万円) | 返還支援 | 150名程度 | 徳島県奨学金返還支援制度 | 徳島県奨学金返還支援制度 | 8月1日～ 12月17日 (当日消印有効) |
| [高浜町Uターン奨学金返還サポート制度] | (1)令和3年度に大学を卒業する見込みの方 (2)令和4年4月1日時点の年齢が33歳未満の方 (3)日本学生支援機構、または福井県大学奨学金を受け、返還中の方 (4)高浜町に定住する意思のある方 | 記載なし | 学部学生 | 返還総支払額の2分の1 (最大200万円) | 返還支援 | 記載なし | 高浜町Uターン奨学金返還サポート制度 | 高浜町教育委員会事務局 | 令和3年4月1日～ 令和4年3月31日 (応募書類必着) |
| 臨時特別伊勢市奨学会 | (1)2021年4月1日の時点で学部生1年～4年生に在籍する者 (2)保護者が伊勢市内に住所を有していること (3)新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業、休業等によって経済的に困窮する世帯であること | 重複可 | 学部学生 | 年額96,000 (月額8,000×12カ月分) | 給付 | 記載なし | 臨時特別奨学金 | 伊勢市教育委員会事務局 | 6月1日～ 2月28日 (当日消印有効) |
| (財)交通遺児育英会 | 保護者等が自動車事故や路切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者 | 可 | 大学院生(在学) 大学院生(学部最終学年) 学部生 | 月額 5万、8万、10万円 月額 4万、5万、6万円 | 貸与 (無利子) | 20名 300名 | (財)交通遺児育英会(リンク) | (財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること | 10月31日 (1次)8月31日 (2次)1月31日 |
| 和歌山県奨学金返還助成制度 | ①2022年3月卒業予定、又は、2023年3月卒業予定の学部生、大学院生で理工系、情報系、農学系、薬学系、工学系の学部・研究科に在籍する方 ②和歌山県内の製造業、情報通信業の企業へ就職を希望する方 ③日本学生支援機構奨学金(第一種または第二種)、その他貸与型奨学金の貸与を受けている方 | 可 | 大学3.4年生の者 大学院1.2年生の者 | 助成金額 奨学金返還金に相当する額 最大100万円 | 返還支援 | 【2022年3月卒業予定】140名 【2023年3月卒業予定】150名 | uwakaやま就職ガイド | 和歌山県 商工観光労働部 労働政策課 | 【2022年3月卒業予定】 2021年5月21日 【2023年3月卒業予定】 第1回目 令和3年7月5日 第2回目 令和3年10月1日 第3回目 令和4年1月21日 |
| みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院 | 日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生 | 卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可 | 医科大学・大学医学部の学部生 | 月額 10万円 月額 15万円 | 貸与 (返還免除制度あり) | 記載なし | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 随時 |

※ 掲 示 期 限 : 2022年3月31日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)